

2024年度 キャリアパス多様化支援セミナーⅢ 研究力アピール強化ワークショップ（第1回）  
アンケート集計結果

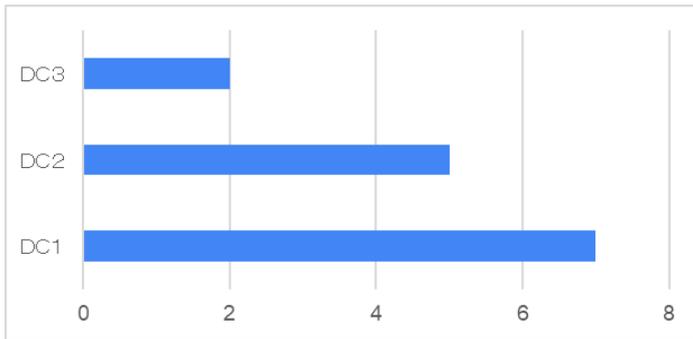
日時：2024年12月9日（月） 15:00～17:00

場所：オンライン（Zoom）

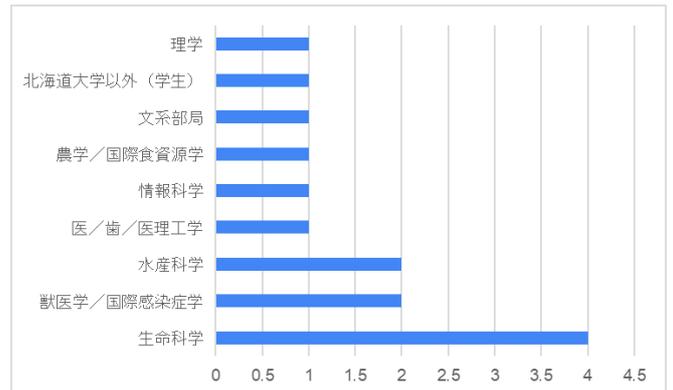
参加人数：19名

回答数：14名

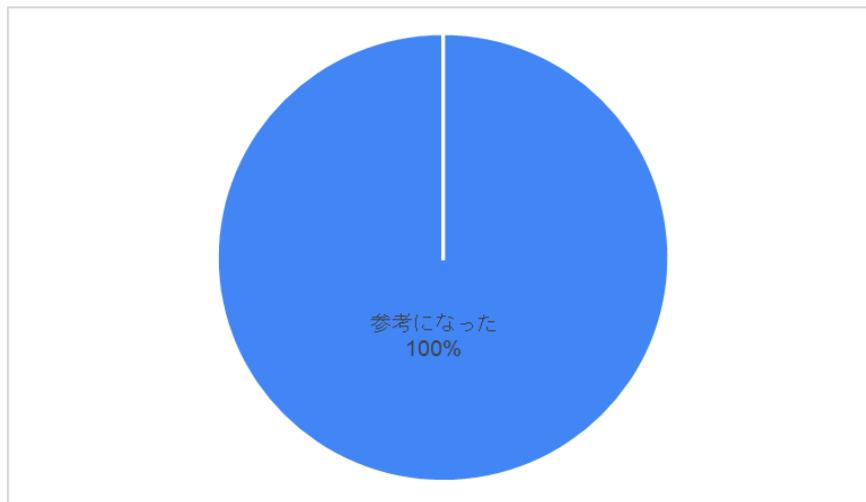
学年別



所属別



1. 本セミナーは参考になりましたか？



1-1. 上記1にて【参考になった方】どの点が参考になりましたか？（具体的に）

主体性やPRの流れを明確に理解することができた。
zoom-in, outのプレゼン構成法, 受ける企業によるアピールの仕方の変え方
グループワークで研究力について考察が深められた点。自身の研究を細分化することで、アピールポイントを絞れた点。質問に個別に答えていただいた点。
企業面接での発表は学術発表と大きな違いがあることが分かりました。企業面接での研究紹介のコツもただけて助かりました。
発表の仕方
ほかの方のプレゼンテーション、研究の評価軸のグループワーク
伝えないとなかったことになること
3分ピッチのフィードバックにおいて足りない部分や改善方法を指摘していただいたから。

面接する際に企業側が博士人材に対して研究紹介からどこに注目するのかということとエントリーシートにも通じる「誰が」読むのかということに対するスライドや文章の構成の仕方が非常に参考になった。セルフワークにあった自分が現在取り組んでいることから順番に何を目的に取り組んでいるのかを確かめていく作業がとても自分のスライドの足りなかった部分につながることでこれを参考にしながら今後のスライド作りに役立てたい。

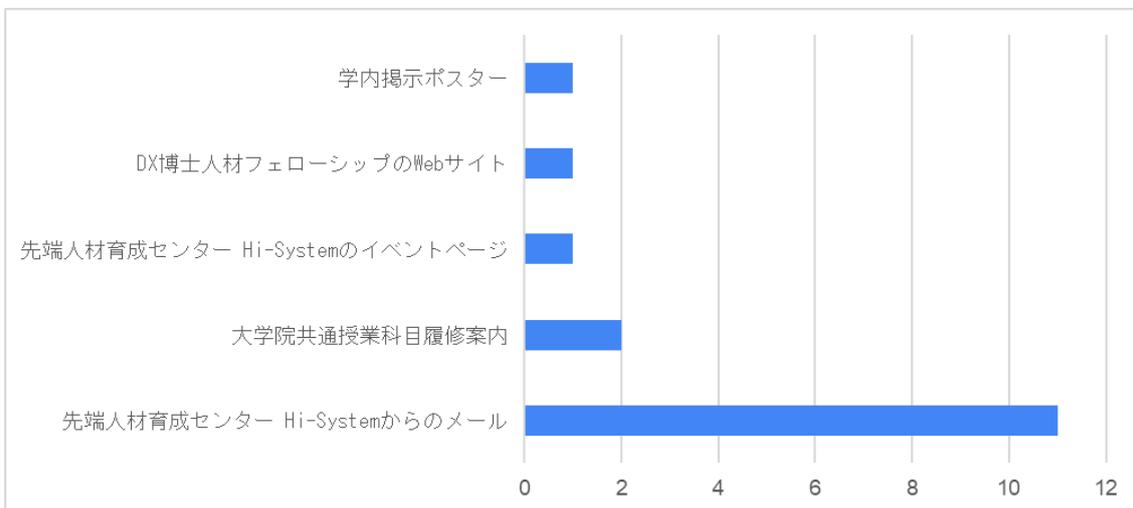
何を重視して人に伝えればいいのか明確になった。特にワークシートは今後役に立つのでごくありがたかった

就職活動の際の研究概要の書き方がどうしても申請書のような構成になってしまうが、それではうまく研究力をアピールすることができないと痛感させられた点が参考になった。

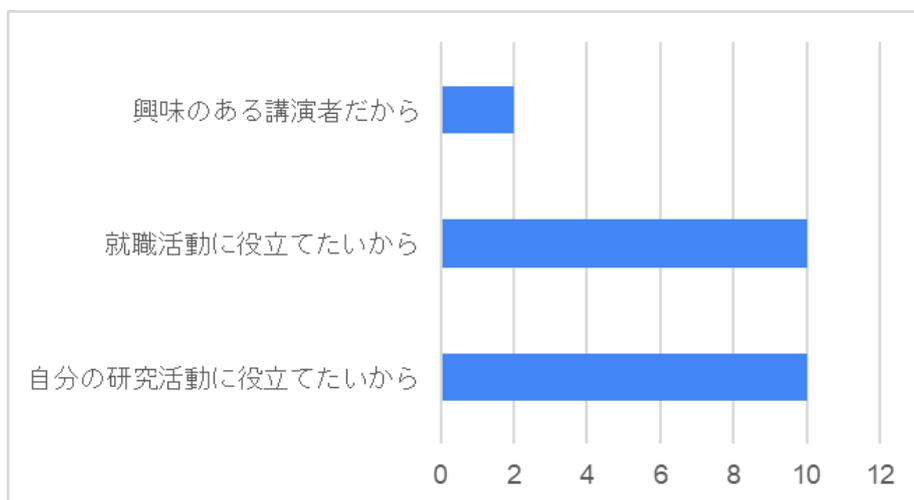
レイアウトやデザイン面において画像の引用やそもそもの必要性についての指摘が有意義だった。研究発表のスライドと就職活動では伝える対象が大きく変わる。就職活動で伝えるべきは「自身の保持する研究力や自身の強みである」ということであり、そこを切り替える必要があることが重要だと気付かされた。

プレゼンへのフィードバックを頂けた点。

## 2. 本セミナー開催について、どのように知りましたか？（複数回答可）



## 3. 本セミナーの参加理由（複数回答可）



4. 本日学んだ中で、今後の研究力アピールの場面で活かしたいポイントは何ですか？

研究目的のズームアウトによる抽象化
zoom-in, out のワークシートによるプレゼン構成法,
相手企業のニーズに合わせたプレゼンを行う。研究内容を細分化し、相手に伝わる研究紹介を行う。
自己アピールの戦略
話の組み立て方、スライドの作り方
実際の発表をする時に単なる研究紹介にならないようにすること。
効果的な研究紹介スライドの構成とその作成方法
・伝えたいことをしっかりと要点を絞って適切な言葉で表現できるだけのプレゼン力 ・課題の設定力と解決力
アウトリーチする際に活かしたい
研究概要を書く際の紙面の割り振り方や、レベル感などを活かしたい。
情報を整理し、なるべくスライドをすっきりさせること。

5. 本セミナーについてのご感想、または主催の先端人材育成センターS-cubic へのご意見・ご要望など（自由にご記入ください）

対面の方も参加させていただきます。赤い糸会と併せて大変参考になっております。ありがとうございます。
本セミナーに参加して、面接で採用企業が自分どの部分を見ているのか（自分の研究成果ではなく、むしろ今までの経験）を知れて非常に参考になりました。
深澤様、お忙しいところ個別指導までしてくださりありがとうございました。
他大学にも関わらず、貴重な機会に参加させていただきましてありがとうございました。
また機会がありましたら、参加させていただきたいと思います。